

2019年度 緑区自立支援連絡協議会 活動報告

1 活動の柱

1. 障害がある人もない人も、誰もが住みやすく、お互いに支えあえる街づくりに取り組みます

- ① 第9回「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します。今年は、障害のある人もない人も、また子どもから高齢者まで、普段障害のある方と関わることがない方とも、スポーツを通して交流出来る企画に取り組みます。そして、誰もが社会の構成員として大切にされる地域づくりを目指します。
- ② 地域で開催される防災訓練とも連動し、「障害のある人」の視点から、防災について検討し、取り組みます。

2. 地域の支援力アップの為に、様々な「つながり」を大切に、「ネットワークづくり」に取り組みます。

- ① 部会活動を中心に、事業所同士の交流や、部会の枠を超えた横のつながり作りを目指します。
- ② 当事者参加、構成員のネットワークづくりを引き続き進め、当事者や家族、また事業所も孤立する事がないような取り組みを勧めます。
- ③ 障害分野以外の関係団体との連携や情報共有、ネットワークづくりに取り組みます。
- ④ 障害のある方を中心においた支援や意思決定支援について、全体研修会をはじめ、部会の枠を超えた研修会を開催し、支援力アップを目指します。

3. 緑区の地域課題を全体で共有し、具体化に向けて取り組みます。

- ① 緑区の人口は、市内最多で24万人を超えており、子どもの人口が多いという状況にあります。そのような特徴を踏まえ、障害のある方の地域課題の整理を行っていきます。
- ② 障害のある方の高齢化や重度化、親御さんの高齢化、また緊急時に対しても、障害のある方の地域生活を、地域における複数の機関が機能を分担して支えていく事が出来るような取り組みをすすめます。

2 活動報告

- (1) 事務局会議・・・年5回開催(4/11、5/16、7/25、10/24、1/16)
区役所、支所、保健センター、社会福祉協議会、基幹センター
- (2) 運営委員会・・・年4回開催(4/25、5/30、8/22、11/21)
緑区身障協会、みどり家族会、緑区育成会、南部地域療育センターそよ風、各部会代表、事務局会議メンバー
- (3) 全体会・・・2019年6月20日開催
医師会、緑区特別支援教育研究会、民生委員障害部会代表、
身体障害者相談員、知的障害者相談員、いきいき支援センター、
緑区役所民生子ども課、腎友会、運営委員会メンバー
- (4) 部会
- ① 日中・居住部会：日中活動事業所(生活介護・自立訓練・就労継続AB・就労移行・地活等)ショートステイ、グループホーム、入所施設、
基幹センター
 - ② 居宅部会：居宅支援(ヘルパー)事業所、基幹センター
 - ③ 児童部会：児童発達支援・放課後等デイサービス事業所、基幹センター
 - ④ 相談部会：指定相談支援事業所、区役所、支所、保健センター、基幹センター
 - ⑤ 精神部会：精神分野の事業所、医療機関、相談支援事業所、保健センター、
基幹センター
 - ⑥ 防災部会：区役所(福祉課、総務課)、支所、部会代表、当事者、みどり災害ボランティアネットワーク、基幹センター

その他

- ・障害の重い人の支援を考える会
- ・地域生活支援拠点等連絡会

<市単位・ブロック単位の取り組み>

- ・名古屋市自立支援連絡会(年3回)16区を4つのブロックに分け、地域課題集約。
- ・南ブロック連絡会 2020/1/28 (緑・天白・南・瑞穂4区の区役所、支所、保健センター、基幹相談センターと障害者支援課と課題交流)

2/27 運営委員会、3/7 全体研修会、3/26 事務局会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

2019年度 日中居住部会活動報告

2019年度より、部会の名称を「日中・居住部会」と改め、居住の場を再度位置づけました。それぞれの事業ごとでの課題もありますが、部会では共通するテーマでの学びを通して、種別の事業所の連携をさらに深め、地域の課題を明らかにし、資源の開発を目標に進めています。

今年度は、共通するテーマとして「暮らし」について学び、理解を深めてきました。

◇運営委員会 場所:ぶなの家

運営委員:ぶなの家中井 ぱすてる小濱 ニコニコハウス松浦 ゆたかGhみどり熊谷 基幹竹原、山内

	日にち	内容
第1回	5/22(水)	今年度の部会活動について
第2回	6/12(水)	他の部会の動き、HP確認、授産製品販売について
第3回	7/18(水)	第1回定例会に向けて
第4回	9/11(水)	第1回定例会の振り返り 地域課題について
第5回	10/9(水)	第2回定例会に向けて 地域課題について
第6回	12/11(水)	第2回定例会の振り返り 第3回定例会に向けて
第7回	2/12(水)	今年度の振り返り 来年度にむけて
第8回	3/13(水)	2020年度のテーマを決める 第1回定例会にむけて

◇定例会

第1回 8/28(水) 徳重支所第1,2会議室にて

「地域で安心して暮らしていくために」～北区の事件より本人・家族を支えるグループワーク～

参加人数 20名

第2回 11/27(水) 徳重支所第2会議室

「暮らしを考える」～実践報告を聞き、支援や課題を考える～

実践報告 ①ゆたか希望の家(施設入所支援) 梶村久美子氏

②ニコニコハウス(共同生活援助) 松浦信太郎氏 参加人数 18名

第3回 1/8(水) 徳重支所第1,2会議室

「権利擁護を考える」～ご本人の権利擁護、意思決定支援について考える～

講師 認定NPO権利擁護支援 ぱらっとほーむ 社会福祉士 野方真理子氏 参加人数 20名

◇自立支援協議会への派遣

防災部会 ぱすてる小濱 つどい実行委員会 ニコニコハウス松浦

◇授産製品販売 (主催:緑区役所福祉課)

①福祉の店(緑区役所・支所)での販売

②1/29(水) イオンモール大高にて「みどり福祉の店フェア」出店

参加事業所 : ウル、ゆたか希望の家、ワークセンターメイプル、生活介護ぱすてる、リハスワーク名古屋緑

◇新規事業所を含め、ホームページの更新を行いました。

2019年度 居宅部会活動報告

◇障害児者に関わるヘルパーさんのためのサロン

ヘルパーさんの交流できる場を目指し、maple houseわかたの喫茶店の一部をお借りし、今年度からスタートしました。サロンの参加者は運営委員が中心ではありますが、毎回活発な意見交流ができ、日々の現場での課題から、地域課題まで考えていくことまで幅広く話し合うことができました。

	日にち	参加人数	内容
第1回	6/14	6名	近況報告、ヘルパー事業所で課題となっていることなどを交流
第2回	8/30	5名	強度行動障害者への支援、移動支援の現状 他
第3回	10/18	5名	第1回定例会について 居宅部会地域課題 他
第4回	12/17	5名	ヘルパーの高齢化、保護者の高齢化 他
第5回	1/21	6名	第2回定例会について 来年度の予定 他
第6回	3/17		(予定)

◇第1回 定例会

日時:2019年11月12日(火) 10:00~12:00

場所:緑区社会福祉協議会研修室

講師:名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課指定指導係 中村氏

テーマ:居宅介護における特定事業所加算について

参加人数:14名

◇第2回 定例会

日時:2020年2月18日(火) 10:00~12:00

場所:緑区社会福祉協議会研修室

講師:株式会社あいぼ 代表 奥山善仁氏

テーマ:知的障害・自閉症の特徴～外出支援を学ぶ～

参加人数:26名

◇緑区自立支援連絡協議会への派遣

防災部会 おおばこ 島田 社会福祉協議会 井本 (交代で出席)

つどい 幸の運び 畑

令和元年度 児童部会活動報告

●第1回 4/19 (金) 徳重支所 22名

- ・基幹センターの業務紹介と各事業所紹介
- ・保健センターの業務の一部窓口変更について
- ・緑区自立支援連絡協議会 運営委員会の報告
- ・家庭訪問型相談支援の紹介
- ・子どもの発達が気になる親のつどいの紹介
- ・昨年度みどりっこひろばの感想・交流会

●第2回 5/17 (金) 徳重支所 19名

- ・6/28(金)虐待防止研修会の案内
- ・南部ブロック会議で出た課題について報告
- ・緑区自立支援連絡協議会 運営委員会の報告
- ・差別相談センターパンフレットについて
- ・みどりっこひろば会議①

★第3回 6/28 (金) 緑区社会福祉協議会 研修室 34名

研修会「施設従事者等による、障害者虐待の防止と対応」 10:00~12:00

講師：名古屋市障害者虐待相談センター所長 弘田 直樹 氏

内容：名古屋市障害者虐待相談センターの紹介、障害者虐待の現状、養護者虐待の早期発見について
障害者福祉施設従事者等による虐待の防止、障害者虐待の防止について

●第4回 9/20 (金) 徳重支所 30名

- ・6/28(金)虐待防止研修会の感想交流
- ・緑区自立支援連絡協議会 運営委員会の報告
- ・みどりっこひろば進捗状況
- ・強度行動障害研修（講師：あいぼ 奥山氏）

●第5回 10/18 (金) 徳重支所 16名

- ・放デイ・児発 空き情報の集約について
- ・緑区自立支援連絡協議会 運営委員会の報告
- ・防災部会報告（緑区民の防災への意識づけ、BCP（事業継続計画）、家具の転倒防止について）
- ・地域課題「放デイ・児発が足りない」要因・原因、現状、具体的な事例等の検討会
- ・みどりっこひろば進捗状況
- ・強度行動障害を終えて感想・質疑応答
- ・つどい実行委員報告（ボッチャ出場チーム募集）

●第6回 11/15 (金) 徳重支所 21名

- ・児童部会から緑区自立支援連絡協議会へ上げる地域課題について
- ・みどりっこひろばに向けて（ルール、進行、会場、パンフレットの確認 等）
- ・救急救命講習の日程変更

★みどりっこひろば 12/13 (金) 緑区役所 2階講堂 10:00~12:00

- ・緑区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業所を、まだ知らない方に向けて紹介するイベント
- ・参加者（保護者、行政関係者）計65名 スタッフ約30名

●第7回 1/17 (金) 徳重支所 16名

- ・1/18(土) 緑区民のつどいについて報告と案内
- ・1年の振り返り、来年度の部会について
- ・みどりっこひろばアンケート振り返り、次回開催に向けての課題整理
- ・緑区自立支援連絡協議会 運営委員会の報告
- ・来年度の児童部会運営委員について

2019 年度相談部会

季楽指定特定相談支援事業所春風：小山、高山、相談支援事業所びいーとる：廃止、相談支援事業所ひととま：中原、相談支援事業所ひなゆり：木下、もみじ相談支援事業所：鈴木・奥山、相談支援センターてらす：熊澤、相談支援ふわふわ：中出・三上・朝岡・佐藤、相談支援ぼぼ：三溝・坂・峯田、相談支援カモミール：加藤・玉川、ゆたか希望の家相談支援事業所：楠本・高橋(幸)・(石田、小川)・石黒、佐藤、エスコートあいち：茶野、つくしみなみ：吉田、南部地域療育センターそよかぜ：小川・近藤、緑区役所福祉係：高橋主査・坂井・斎藤、緑区役所徳重支所：浅井主査、緑保健センター：村上係長・並川、区役所保健予防課：牧野、緑区基幹相談支援センター：倉林・松井・菅本

2019 年度定例会

日程(各 10:00 ~11:50)	内容	場所	人数
4月15日(月)	新年度の顔合わせ 名古屋市から地域生活支援拠点事業について説明	徳重支所第 1・2会議室	35名
5月20日(月)	保健センターと区役所保健予防課の役割について 相談支援事業所交流、地域生活支援拠点事業について	保健センタ ー集会室	25名
6月17日(月)	A 計画相談にかかわって、B 子どもの支援と家族の支援、C ヘルパー不足について、D 緊急時の支援について4つのグ ループに分かれて討議を行った。	区役所第 2 会議室	25名
7月22日(月)	報告事項(協議会全体会、地域生活拠点事業連絡会) 6月のグループ討議を振り返って内容を深めた。	保健センタ ー集会室	20名
8月19日(月)	計画相談にかかわる質問事項について名古屋市認定支払 係から説明を受けた。	徳重支所第 1・2会議室	18名
9月17日(火)	8月の説明を受けて振り返りと後半期の相談部会について	区役所第 2 会議室	21名
10月21日 (月)	各事業所の状況交流、人材育成の課題について	区役所第 2 会議室	15名
11月18日 (月)	地域課題について(計画相談、入浴支援、人材育成の課題)	保健センタ ー集会室	20名
12月16日 (月)	グループ討議(各事業所の運営状況、社会資源の把握等)を 2グループに分かれて行った。会議の報告。	区役所第 2 会議室	21名
1月20日(月)	1年間の振り返りと次年度の課題、	徳重支所第 1・2会議室	19名
2月17日(月)	今年度相談部会のまとめと次年度の内容持ち方について アンケートのまとめをもとにグループ討議を行った。	区役所第 2 会議室	21名
3月16日(月) 中止	学習会(木全先生)：相談支援の現状と在り方、国の動向等	保健センタ ー集会室	

* 定例会の内容：相談支援事業所・相談支援専門員の交流、学習会等

精神部会 2019 年度活動報告

2019 年	
5 月 21 日	部会 2019 年度の活動について検討→GH の勉強会に決まる
7 月 16 日	部会 講演会について、勉強会について、地域課題について検討
9 月 17 日	部会 講演会について、勉強会について（第 1 回、第 2 回） 地域課題について検討
10 月 15 日	第 1 回勉強会 GH について実施
11 月 2 日	精神部会企画講演会「居心地のいい人と場所につながる こころの病で悩んでいるあなたへ」
11 月 19 日	部会 講演会報告、勉強会振り返り
2020 年	
1 月 21 日	部会 第 2 回勉強会について、今年度の活動報告・活動計画について つどいについて報告
3 月 17 日	部会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 ）

※講演会実行委員会を 11 月まで月 1 で実施

2019年度 防災部会 活動報告

≪活動の柱≫

①区内の避難訓練への参加（昨年に引き続き）

参加のみならず、総務課へのフィードバック・協議会へのフィードバックを行っていく

②「個人個人で備えるべきこと」を進めていく

- 1) 家具転倒防止 事業所で家具転倒防止ポラに入ってもらったところを見学（動画撮影・上映）
- 2) 食料の備蓄

③その他、防災に関して学ぶ

減災館の見学

事業継続計画（BCP）について学ぶ機会

町歩き（ハザードマップを確認して歩く）

		予定	場所（区役所内）	防災関連行事
1	4月23日（火）	顔合わせ 活動計画作成①		
2	5月28日（火）	宿泊型防災訓練の参加について 活動計画作成②		5/26（日）A M総合水防訓練 （小坂）
3	6月25日（火）	家具転倒防止プロジェクトの進捗状況 について／宿泊型防災訓練振り返り		6/22-23 宿泊型避難所開設訓練 （東丘）
4	7月23日（火）	減災館訪問	—	
5	8月27日（火）	減災館振り返り／BCP・家具転倒防止 進捗確認／総合防災訓練について	第1会議室	
6	9月24日（火）	BCP・家具転倒防止進捗確認 総合防災訓練振り返り	第1会議室	9/1（日）総合防災訓練（相原） 9/14（土）風の会 防災訓練
7	10月29日（火）	事業継続計画（BCP）講演会について 今後の活動について	第1会議室	10/19-20 ぼうさいこくたい 2019
8	11月26日（火）	避難時ルートの点検活動（防災街歩き）	第1会議室	11/9 緑区防災フェスタ（区役 所講堂）11/23 北区訓練
9	12月24日（火）	防災街歩き振り返り 北区の防災訓練について	第1会議室	
10	2月25日（火）	活動振り返り／活動計画／事業継続計 画（BCP）講演会準備について	講堂控室	2/11 南区協議会防災訓練
11	3月24日（火）	活動計画 中止	講堂控室	

障がいの重い人の支援を考える会

2019(R1)年度 活動報告

南区・緑区の重症心身障がいのある大人と子どもが利用する事業所の集まりで、訪問看護事業所の看護師の参加や大同病院での勉強会の話なども含め、障がいの重い人への支援について話している。少しずつではあるがメンバーが増えてきている。

(1)毎月の会議内容（基本毎月第2火曜日午後13時から15時 会場は緑区役所第1会議室）

	日程	内容
67回	4月9日（火）13時～15時 区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇昨年度の振り返りと今年度の計画 ◇たね・かぜの家の話の振り返り
68回	5月7日（火）13時～15時 生活支援センターびぼっと西館	◇生活支援センターびぼっと西館 見学 ◇児童のケース 訪問看護ステーション豆大福 西山看護師より ◇中川区基幹相談支援センター 白崎氏
69回	6月4日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇先月の西山さんのお話のその後 ◇児童の課題・入浴、入院時の付き添い、放課後等サービスの区分 ◇地域生活支援拠点報告 ◇だいでうクリニックでの小児在宅勉強会での防災についての報告
70回	7月9日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇児童のケース、保育園や学校の状況 ◇地域生活支援拠点報告
71回	8月6日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇Nさん家のお二人のこと、入浴の課題
72回	9月10日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇地域課題・小児の入浴 ◇大同病院の重症心身障害児や施設への要望
73回	10月8日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇大同病院の重症心身障害児や施設への要望 ◇小児の移動入浴
74回	11月5日（火）13時～15時 緑区役所第3会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇大同病院の重症心身障害児や施設への要望・11月 ◇13日大同病院での小児在宅勉強会にて話す内容
75回	12月10日（火）13時～15時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇杉山先生からの相談・医療相談 ◇医療的ケア児等コーディネーター ◇12/21の勉強会、清水氏に聞きたいこと
77回	1月7日（火）14時～16時 緑区役所第1会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇杉山先生かたろまいカフェについて ◇12月21日清水氏の話の振り返り
78回	2月4日（火）13時～15時 緑区役所第3会議室	◇各事業所の近況・報告 ◇2月2日かたろまいカフェの振り返り ◇人手不足について・就職セミナー ◇地域生活支援拠点
	3月10日（火）13時～15時 緑区役所	◇コロナウイルス感染予防のため会場が使用できず、中止

(2)まとめ

・昨年度末障がいの重い人の暮らしをもう一度話していこうという事になり、新しい年度を迎えた。ずっと話してきた地域生活支援拠点である名古屋キリスト教社会館が開所し、早々に見学をさせて頂いた。その時母の入院による子どもの利用があるともお聞きした。この時話し合った事も訪問看護から出された重い障がいがある未就学児の話で、医療的なケアが必要ということで通う保育園が中々みつからないと聞いた。そのお子さんの地区である基幹相談支援センターの相談員にも来て頂き、課題を共有できた。また、子どもの体は小さいが家族だけの入浴は大変で、まして呼吸器などがあると誰かの手を借りないと入れないので、8月に実際にお母さんに来て頂き、在宅での様子や入浴についての苦労をお聞きした。そこから15歳以下は利用できない移動入浴について、地域課題として各區で挙げていく事となった。

・夏頃に、大同病院が東海市に知多半島地域及び名古屋南部において中核的となる重心の施設を作る事が発表され、どういものがあったらいいかという事を聞かれ、考える会の中でも話をした。院内学級の有無やこれまで通っていた学校への通学、それを保障する送迎や移動支援、ショートステイの緊急枠、ショートステイ利用時在宅に来てくれるいつものヘルパーや訪問看護の利用、家族も一緒に泊まれる環境、医療的ケア3号研修の研修機能への期待等の意見が出た。それを基に、11月だいたいどうクリニックでの小児在宅勉強会で中原が話をさせてもらった。

・そのころ、大同病院の訪問もされている在宅診療部の杉山先生が、参加をして下さるようになった。在宅診療の事やメンバーからの医療的な質問等をしながら、継続的な関わりができていった。その中で、先生が行おうとしてみえる医療相談を形にしていこうと話し合い、2月2日にプレオープンではあったが、事業所関係者が集まりさくらそうにて「かたろまいカフェ」を始めることが出来た。この事は社会資源としての医療と困っている人をつなげることになり、考える会の役目が果たせた感がある。

・12月は名古屋キリスト教社会館の研修の後、講師の西宮の清水氏より、昨年度1月に聞けなかった権利擁護や意思決定支援について話を伺う事ができた。この時は南・緑区の相談部会からも出席があった。話の後11月から参加の杉山先生も感想を述べられた。

・2月以降コロナウイルス感染が広がり、3密を避けることになり集まって会議をする事ができず、3月はキャンセルとなった。かたろまいカフェの次の会も行えていない。急な感染への対応となり、全国的に自粛となったが、特に名古屋市南区・緑区は高齢者施設で感染者が早くから出て、クラスター（集団感染）と呼ばれる様になった。各事業所でも消毒やマスクなどの物品調達や、検温や感染を防ぐための決まりを作りながら、感染するあるいは感染させてしまうのではという恐れやこれから先のことが分からない不安を日々感じて過ごした。

(3)残された課題

- ・コロナウイルス感染予防により日常が変化したその実態
- ・第2波に備えて・・・自宅、日中の場、暮らしの場
- ・かたろまいカフェの再開を一緒に考える
- ・医療との連携
- ・地域生活拠点事業と在宅の暮らし
- ・本人の思いのくみ取りや意思決定
- ・人手不足の解消とそのための連携
- ・医療的ケア3号研修の必要性